

# 債権処理計画

(平成26年度実績・平成27年度目標)

三重県警察本部

## 平成26年度 債権処理計画（実績）

総括票	.....	1
個 票		
放置違反金	.....	2
損害賠償金弁償金（交通信号機）	.....	3
損害賠償金弁償金（交番）	.....	4

様式(実績2)

平成26年度 債権処理計画(実績・総括票)

1 部局長等名	警察本部長
2 取りまとめ担当課名	警務部会計課

滞納債権の現状

3 平成26年度実績

債権の性格	種別	A 平成25年度 実績	B 当初 (平成25年度末)	C 平成26年度 目標 (26年度発生分を除く。)			D 実績(平成26年度末) (26年度発生分を除く。)				E 26年度発生分期 末残高	F 平成26年度末 B-D+E	主な債権	
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額		
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比 C/B(%)	前年比 C/A(%)	処理件数	全体比 D/B(%)	前年比 D/A(%)	D/C(%)	件数	件数		
3-1 強制徴収 公債権	回収対象	5,898,000 円 402 件		4,340,000 円 300 件	回収率	73.6	5,348,659 円 368 件	回収率	90.7	123.2			放置違反金	
	整理対象	6,460,000 円 435 件		3,700,000 円 246 件	整理率	57.3	3,733,000 円 250 件	整理率	57.8	100.9				
	計	12,358,000 円 837 件	21,031,000 円 1,445 件	8,040,000 円 546 件	処理率	38.2	9,081,659 円 618 件	処理率	43.2	73.5	113.0	3,194,000 円 222 件		15,143,341 円 1,049 件
					回収率	37.8		回収率	42.8	73.8	113.2			
3-2 非強制徴収 公債権	回収対象	0 円 0 件		0 円 0 件	回収率		0 円 0 件	回収率						
	整理対象	0 円 0 件		0 円 0 件	整理率		0 円 0 件	整理率						
	計	0 円 0 件	0 円 0 件	0 円 0 件	処理率		0 円 0 件	処理率				0 円 0 件		0 円 0 件
					回収率			回収率						
3-3 私債権	回収対象	42,000 円 0 件		42,000 円 0 件	回収率	100.0	2,000 円 0 件	回収率	4.8	4.8			損害賠償金弁償金(交通信号機) 損害賠償金弁償金(交番)	
	整理対象	0 円 0 件		0 円 0 件	整理率		0 円 0 件	整理率						
	計	42,000 円 0 件	11,062,319 円 2 件	42,000 円 0 件	処理率	0.4	2,000 円 0 件	処理率	0.0	4.8	4.8	0 円 0 件		11,060,319 円 2 件
					回収率	0.0		回収率	0.0					
合計	回収対象	5,940,000 円 402 件		4,382,000 円 300 件	回収率	73.8	5,350,659 円 368 件	回収率	90.1	122.1				
	整理対象	6,460,000 円 435 件		3,700,000 円 246 件	整理率	57.3	3,733,000 円 250 件	整理率	57.8	100.9				
	計	12,400,000 円 837 件	32,093,319 円 1,447 件	8,082,000 円 546 件	処理率	25.2	9,083,659 円 618 件	処理率	28.3	73.3	112.4	3,194,000 円 222 件		26,203,660 円 1,051 件
					回収率	37.7		回収率	42.7	73.8	113.2			

様式(実績1)

平成26年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	放置違反金
2 債権の性格	強制徴収公債権
3 債権の概要	根拠法規: 道路交通法第51条の4 放置駐車違反車両の使用者に対する行政制裁金
4 滞納となった要因等	債務者の所在不明、生活困窮等
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	交通部交通指導課

7 取組方針	<p>○所在不明者の追跡調査、電話や訪問等による催促などにより自主的な納付率の向上方を推進するとともに、納付に応じない者に対しては滞納処分を継続実施していきます。</p> <p>○多数滞納事案や時効切迫事案を重点に徴収を推進します。</p>
8 取組成果	<p>○平成26年度中、過年度の未済額の回収は368件(目標比+68件)・5,348,659円(目標比+1,008,659円)となり、目標を達成することができました。</p> <p>○時効切迫事案を中心に滞納者に対する財産の滞納処分を推進した結果、平成26年度中、76件(前年比-12件)・922,659円(前年比-62,341円)を強制徴収しました。</p>

滞納債権の現状

9 平成26年度実績

債権の性格	種別	A 平成25年度実績	B 当初(平成25年度末)	C 平成26年度目標(26年度発生分を除く。)			D 実績(平成26年度末)(26年度発生分を除く。)				E 26年度発生分期末残高	F 平成26年度末B-D+E		
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額		
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比C/B(%)	前年比G/A(%)	処理件数	全体比D/B(%)	前年比D/A(%)	D/C(%)	件数	件数		
強制徴収公債権	回収対象	5,898,000 円		4,340,000 円	回収率	73.6	5,348,659 円	回収率	90.7	123.2				
		402 件		300 件	回収率	74.6	368 件	回収率	91.5	122.7				
	整理対象	6,460,000 円		3,700,000 円	整理率	57.3	3,733,000 円	整理率	57.8	100.9				
		435 件		246 件	整理率	56.6	250 件	整理率	57.5	101.6				
	計	12,358,000 円	21,031,000 円	8,040,000 円	処理率	38.2	65.1	9,081,659 円	処理率	43.2	73.5	113.0	3,194,000 円	15,143,341 円
		837 件	1,445 件	546 件	処理率	37.8	65.2	618 件	処理率	42.8	73.8	113.2	222 件	1,049 件

様式(実績1)

平成26年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(交通信号機)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	交通事故に伴う交通信号機の破損に係る損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	交通部交通規制課

7 取組方針	一括納付が困難であるため、納付期限を延長し、分割納付により、毎月、継続納付をさせます。
8 取組成果	債務者の生活困窮により、納付が滞り、目標どおり回収できなかった。

滞納債権の現状

9 平成26年度実績

債権の性格	種別	A 平成25年度実績	B 当初(平成25年度末)	C 平成26年度目標(26年度発生分を除く。)			D 実績(平成26年度末)(26年度発生分を除く。)				E 26年度発生分期末残高	F 平成26年度末B-D+E		
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額		
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比C/B(%)	前年比C/A(%)	処理件数	全体比D/B(%)	前年比D/A(%)	D/C(%)	件数	件数		
9-3  私債権	回収対象	42,000円	/	42,000円	回収率	100.0	2,000円	回収率	4.8	4.8	/	/		
		0件	/	0件	回収率		0件	回収率			/	/		
	整理対象	0円	/	0円	整理率		0円	整理率			/	/		
		0件	/	0件	整理率		0件	整理率			/	/		
	計	42,000円	2,210,200円	42,000円	処理率	1.9	100.0	2,000円	処理率	0.1	4.8	4.8	0円	2,208,200円
		0件	1件	0件	処理率	0.0		0件	処理率	0.0			0件	1件

様式(実績1)

平成26年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(交番)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	運転していた自動車により鈴鹿警察署神戸交番に繰り返して衝突させ、ドア及び壁面を損傷させた損害賠償金
4 滞納となった要因等	刑務所に服役中
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	警務部会計課

7 取組方針	出所日(仮釈放日)以降に債務者と接触し、今後の弁済計画について確認します。
8 取組成果	刑務所に服役中のため、回収できなかった。

滞納債権の現状

9 平成26年度実績

債権の性格	種別	A 平成25年度実績	B 当初(平成25年度末)	C 平成26年度目標(26年度発生分を除く。)			D 実績(平成26年度末)(26年度発生分を除く。)				E 26年度発生分期末残高	F 平成26年度末B-D+E		
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額		
		処理件数	未済件数	処理件数			処理件数				件数	件数		
					全体比 C/B(%)	前年比 C/A(%)			全体比 D/B(%)	前年比 D/A(%)	D/C(%)			
9-3  私債権	回収対象	0円	/	0円	回収率		0円	回収率				/	/	
		0件	/	0件	回収率		0件	回収率				/	/	
	整理対象	円	/	0円	整理率			0円	整理率				/	/
		件	/	0件	整理率			0件	整理率				/	/
	計	0円	8,852,119円	0円	処理率	0.0		0円	処理率	0.0			0円	8,852,119円
		0件	1件	0件	処理率	0.0		0件	処理率	0.0			0件	1件

## 平成27年度 債権処理計画（目標）

総括票	.....	5
個 票		
放置違反金	.....	6
損害賠償金弁償金（交通信号機）	.....	7
損害賠償金弁償金（交番）	.....	8

様式(目標2)

平成27年度 債権処理計画(目標・総括票)

1 部局長等名	警察本部長
2 取りまとめ担当課名	警務部会計課

滞納債権の現状

3 平成27年度目標

債権の性格	種別	A 平成26年度末	B 平成27年度 目標 (27年度発生分を除く。)			C 平成26年度実績 (26年度発生分を除く。)	主な債権
		未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	
		未済件数	処理件数	全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数	
3-1 強制徴収 公債権	回収		5,380,000 円	回収率	100.6	5,348,659 円	放置違反金
			370 件	回収率	100.5	368 件	
	整理		1,212,000 円	整理率	32.5	3,733,000 円	
			82 件	整理率	32.8	250 件	
計	15,143,341 円 1,049 件	6,592,000 円 452 件	処理率 43.5	72.6	9,081,659 円 618 件		
3-2 非強制徴収 公債権	回収			回収率			
	整理			整理率			
	計		0 円 0 件	処理率		0 円 0 件	
3-3 私債権	回収		52,000 円	回収率	2,600.0	2,000 円	損害賠償金弁償金(交通信号機) 損害賠償金弁償金(交番)
			0 件	回収率		0 件	
	整理		0 円	整理率		0 円	
			0 件	整理率		0 件	
計	11,060,319 円 2 件	52,000 円 0 件	処理率 0.5	2,600.0	2,000 円 0 件		
合計	回収		5,432,000 円	回収率	101.5	5,350,659 円	
			370 件	回収率	100.5	368 件	
	整理		1,212,000 円	整理率	32.5	3,733,000 円	
			82 件	整理率	32.8	250 件	
計	26,203,660 円 1,051 件	6,644,000 円 452 件	処理率 25.4	73.1	9,083,659 円 618 件		



様式(目標1)

平成27年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	放置違反金
2 債権の性格	強制徴収公債権
3 債権の概要	根拠法規:道路交通法第51条の4 放置駐車違反車両の使用者に対する行政制裁金
4 滞納となった要因等	債務者の所在不明、生活困窮等
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	交通部交通指導課

7 取組方針	<p>○所在不明者の追跡調査、電話や訪問等による催促などにより自主的な納付率の向上方策を推進するとともに、納付に応じない者に対しては滞納処分を継続実施していきます。</p> <p>○多重滞納事案や時効切迫事案を重点に徴収を推進します。</p>
--------	---

滞納債権の現状

8 平成27年度目標

債権の性格	種別	A 平成26年度末	B 平成27年度目標 (27年度発生分を除く。)			C 平成26年度実績 (26年度発生分を除く。)	備考		
		未済額	処理額	回収率・整理率		処理額			
		未済件数	処理件数	全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数			
8-1  強制徴収公債権	回収		5,380,000 円	回収率	100.6	5,348,659 円			
			370 件	回収率	100.5	368 件			
	整理		1,212,000 円	整理率	32.5	3,733,000 円			
			82 件	整理率	32.8	250 件			
	計		15,143,341 円	6,592,000 円	処理率	43.5		72.6	9,081,659 円
			1,049 件	452 件	処理率	43.1		73.1	618 件



様式(目標1)

平成27年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(交番)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	運転していた自動車により鈴鹿警察署神戸交番に繰り返して衝突させ、ドア及び壁面を損傷させた損害賠償金
4 滞納となった要因等	刑務所に服役中
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	警務部会計課

7 取組方針	刑務所出所後、定期的に所在確認、文書催告、電話催告、訪問を行い、分割納付を指導する計画的な債権回収を図っていきます。
--------	--

滞納債権の現状

8 平成27年度目標

債権の性格	種別	A 平成26年度末	B 平成27年度 目標 (27年度発生分を除く。)			C 平成26年度実績 (26年度発生分を除く。)	備考	
		未済額	処理額	回収率・整理率		処理額		
		未済件数	処理件数	全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数		
8-3  私債権	回収		10,000 円	回収率			0 円	
			0 件	回収率			0 件	
	整理		0 円	整理率			0 円	
			0 件	整理率			0 件	
	計		8,852,119 円	10,000 円	処理率	0.1		0 円
			1 件	0 件	処理率	0.0		0 件

## 施策 141 犯罪に強いまちづくり

【主担当部局：警察本部】

### 県民の皆さんとめざす姿

さまざまな主体と連携した犯罪抑止活動が展開されるとともに、発生した犯罪が検挙されることで、県民一人ひとりの安全が保たれ、安心して暮らせる、犯罪の起きにくい社会が構築されています。

### 平成31年度末での到達目標

被害者に重大な危害を及ぼす重要犯罪等がさまざまな主体と一体となった犯罪抑止活動、検挙活動により減少しています。

県民指標						
目標項目	27年度	28年度		29年度	30年度	31年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
刑法犯認知 件数						
目標項目の説明	刑法犯（道路上の交通事故に係る危険運転致死傷、業務上（重）過失致死傷および自動車運転過失致死傷を除く。）について、1年間に被害の届出や告訴・告発を受理等した件数					
28年度目標値 の考え方						

活動指標							
基本事業	目標項目	27年度	28年度		29年度	30年度	31年度
		現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
14101 みんなで 進める犯罪抑 止対策と犯罪 被害者等支援 対策の推進 （警察本部）	防犯ボランテ ィアの団体数						
14102 犯罪の徹 底検挙のため の活動強化 （警察本部）	重要犯罪の検 挙率						
14103 県民の安 全を守る活動 基盤の整備 （警察本部）	交番・駐在所の 建て替え整備 数						

## 現状と課題

- ① 地域の安全と安心を確保するため、犯罪の抑止と検挙に取り組んできた結果、平成 26(2014)年中の刑法犯認知件数は、ピークであった平成 14(2002)年から 6 割以上減少するなど、犯罪情勢には一定の改善が見られます。一方、県民に強い不安を与える凶悪犯罪や侵入犯罪、子ども・女性が被害者となる性犯罪等は後を絶たず、また、平成 26(2014)年中のストーカー・配偶者暴力事案の認知件数、特殊詐欺の被害額が過去最高を記録するなど、県民の皆さんの不安を解消するには至っていません。このほかにも、サイバー空間が県民の日常生活の一部となっている中で、インターネットバンキング不正送金事案等のサイバー犯罪の多発やサイバー攻撃の危険性の増大といったサイバー空間における脅威の深刻化など、社会情勢の急激な変化に伴う新たな問題が出現しています。
- ② このような現状において、県民の皆さんの安全が保たれ、安心して暮らせる地域社会を構築していくためには、自治体や地域住民、ボランティア団体などのさまざまな主体と連携した犯罪抑止活動はもとより、社会経済情勢の変化等に伴う捜査環境の変容に柔軟に対応した検挙活動を一層推進していく必要があります。

## 平成 28 年度当初予算編成に向けての基本的な考え方

### 警察本部

- ① 多様な主体との「協創」による犯罪に強いまちづくりを推進します。特に、子どもの安全確保・非行防止対策や高齢者に重点を置いた特殊詐欺対策、繁華街等における犯罪抑止対策などを促進するとともに、安全・安心なサイバー空間の確保に取り組めます。また、犯罪被害者等支援に対する県民の理解を得ることで、犯罪に遭わない・起こさない意識を醸成します。
- ② 犯罪を徹底検挙するため、迅速・的確な初動捜査の徹底、各種捜査支援システムの活用、科学捜査の高度化など、犯罪の痕跡と犯人を結び付ける事後追跡可能性や客観的証拠の確保に向けた取り組みを推進します。
- ③ 警察活動を支える基盤を強化するため、地域住民の安全・安心の拠り所である交番・駐在所等の施設や警察活動に必要な装備資機材等の整備充実を図ります。
- ④ 主要国首脳会議の開催決定を踏まえ、各国首脳等の身辺の安全確保と会議の円滑な進行に支障が生じることのないよう、県民の皆さんの理解と協力を得ながら、テロ対策を始めとする警備諸対策を推進します。

### 環境生活部

- ⑤ 防犯カメラの有効性とプライバシー保護との調和を図り、防犯カメラに対する県民の不安を緩和し、その設置を促進することを目的に「三重県防犯カメラの設置及び運用にかかるガイドライン（仮称）」を平成 27 年中に策定する予定です。また、犯罪のない安全で安心なまちづくりを推進する取組として市町や自主防犯団体などが行う防犯カメラ等の設置に対する補助制度の検討を進めます。
- ⑥ 安全で安心な社会にとって新たな脅威となりつつある諸問題に総合的かつ横断的に対応する必要が急務であり、「犯罪から県民を守るアクションプログラム（仮称）」の策定に取り組めます。